

本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、  
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



中咽頭がん 治療編3 053：キムタクと同年。

2017年6月10日（土）（抗がん剤治療2/2回目・放射線治療33/39回目）

歌声を失ったトキは『聴く専門』に徹することで、元々、そうだったと思い込もうとしていました。



毎週土曜日に外泊で帰宅する度に自前のCDを見繕っては病室に持ち帰り、パソコンで聴くというルーティーンでした。内容は大好きなQUEENを中心としたハードロックやヘビーメタルです。トキは真面目で大人しい草食動物のような性質ですが、音楽に関しては、かなりロックでした。また、映画のサウンドトラックもお気に入りです。スター・ウォーズやハリー・ポッターのテーマなどは、すこぶるテンションが上がります。それらの音楽を聴きまくることは自分を保つためでしたが、それは、ある意味『現実逃避』でもありました。

因みに、トキは昔、西田ひかるの大ファンでした。大学時代はファンクラブにも入っていました。今は、それなりですが、チョイスには、そのCDも含んでいます。西田ひかるが好きな理由は単純です。トキと同年だからです。トキは『同年』というキーワードに敏感です。同年の人たちの動向は刺激であり、自分を計る物差しにもなるからです。



キムタクやホリエモンもトキと同じ45歳。

つまり、年齢的には、キムタクが甲状腺がん&中咽頭がんになり、トキと同じ状態になることもあり得るというわけです。しかし、そうなったのは、キムタクではありません、トキです。トキなのです。



『**同い年**』と言えば**宮川大輔さん**もそうです。宮川さんが出演している『世界の果てまでイッテ Q』を、トキはウタと一緒に毎週欠かさず見えています。このDVDを見ることも、本来の日常を感じる、手のひとつです。しかも、お笑いしてくれば、なおさらです。他に好きなのは漫才コンビのナイツです。この辺りのDVDを

**毎週末、TSUTAYAに自分で借りに行き、自分で返しに行く。**

借りる作品を選んでいる時間は、自分が『**そうである**』ということをおぼろげに忘れることが出来たのです。また、それらを病室で見ている時間も同じくでした。それなりに忙しく、楽しく、気が付けば、

**トキは『**そうである**』時間を随分と経過させることに成功していたのです。**

**2017年6月11日（日）（抗がん剤治療2/2回目・放射線治療33/39回目）**

とは言え、時間経過と共に副作用は増していきます。もはや、冷たいものも熱いものもアウトです。口内炎にしみるのです。夕飯も冷ますために、届いてから30分は手を付けられません。現状・・・

**○食欲が無くなっている。 ○口が大きく開かない。 ○噛む力も飲み込む力も弱い。  
○唾液が少なく、口が乾く。 ○味覚はほぼ無いに等しい。 ○熱いも冷たいも口内炎にしみる。**

トキの場合、甲状腺が無いので体調も不安定で、カルシウムが不足すると手足がしびれます。しかし、食べなければ痩せる、痩せると治療が止まる。止まると死に繋がる。トキは思いました。

**『これは一体、何地獄だろうか？』**

トキは、夕飯に『お粥』よりも、やや硬い『軟飯』を試しました。多少、噛む回数が変わること以外、『**麺類**』も含めて、無味なため何ら差はありません。因みに、茶わん蒸しが出たのですが、何と具無しだったのです。トキは味覚がないので、どうでもいいのですが、何も見つからなかった宝探しのように、『**単なる卵豆腐やん！**』と、しょんぼりしました。



**⇒ 054：10年後に中咽頭がんになる人が羨ましい。**